

社会教育編：K

テーマ 「誰もが安心して生活できる社会をつくるために」

タイトル 不安から安心へ

【学習資料】

中学3年生のお正月、わたしの家に親戚たちが集まりました。おじさんやおばさんたちが話をしています。その会話の中にわたしは入っていませんが、内容は聞こえてきます。



Aさん : 娘が結婚したいって言い出したんだ。 . . . ①
わたしは、「それはよかった。おめでたいことだな。」と思いました。

Bさん : そうなんだね。その相手の方はどんな人なの？

Aさん : その人は（ 同和地区 ）の人なんだよね。

Bさん : Aさんはその結婚を認めるの？

Cさん : 周りの人たちがそのことを知ったら、どう思うのかな . . . 。
世間からどう思われるのかな、娘さんも私たち親せきも . . . 。

Bさん : そうだよね . . . 。 . . . ②

わたしは、「この後どんな会話になるんだろう。」と思い、不安な気持ちになりました。

Dさん : 本人が決めたんだよね。そのことに何か問題でもあるの？
何も問題はないし、おめでたいことだから、みんなで祝福しよう。

Eさん : そうだよね。おめでとう。

わたしは安心した気持ちになりました。

その後、Aさんの娘さんは、親戚たちを含め、多くの人たちに祝福されて結婚したそうです。


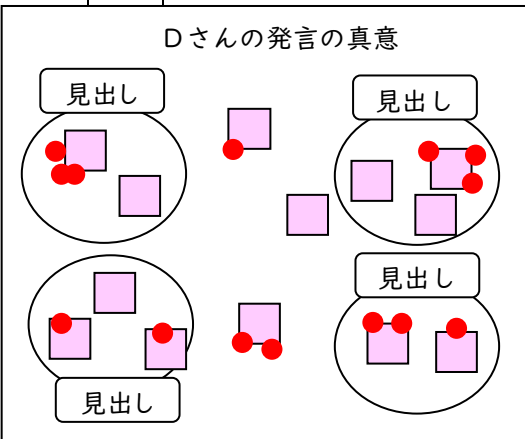
※学習資料の（ ）の中は「同和地区」としてはいますが、他の人権課題における社会的マイノリティを入れて研修を深めることができます。地域の実情や研修のねらいに応じてご検討ください。
例) 障がい者、外国人など

【学習のポイント】

○あらゆる差別を容認している要因について考え、理解を深める。

○誰もが安心して生活できる社会をつくるために、できそうなことや大切にしたいことを考え、共有する。

【すすめ方】 (90分)

流れ	分	主な活動	主な発問等	留意点
導入	3 15	1 テーマ、学習のポイント、おしゃべりのルール(参加・尊重・守秘)を確認する。 2 アイスブレイク 活動「どんな権利をもっているの？」 ※『権利のカード【世界人権宣言版】【子どもの権利条約版】』は、人権教育課のホームページからダウンロードできます。 ※ダウンロードは  こちらから→	■「まじめなおしゃべり」を通して、テーマについて理解を深めていきましょう。 ■活動の流れを説明します。 ①『権利のカード』をトリピーのイラストがある面を表にして並べる。 ②ジャンケンで話す順番を決める。 ③1番の人は自分の名前を伝えた後、好きなカードを選び、カードに書かれている質問について話す。(1分間以内) ④順番にそのカードの質問について話す。 ⑤全員が話し終わったら、カードの裏面を読み、どんな権利と関係があるのかを確認する。 ※③～⑤を時間がくるまで続ける。 ■普段の思いや行動が、自分が持っている権利とつながっているということに気づかされますね。	◆事前にグループ編成を行っておくと良い。 ◆グループの人数は1グループ4人程度。
展開 1	7 5	3 学習資料を読んで(※ロールプレイでも可)、Aさん、Bさんそれぞれの思いや考えを想像し、意見交換する。 4 ファシリテーターがグループでの意見交換の様子や内容を伝え、資料を提示しながら、あらゆる差別を容認している要因について考え、理解を深める。	■登場人物や場面の状況を確認してみましょう。 ■Aさんが①の発言をした時、どんな思いや考えがあったのでしょうか。 グループ内で自由に考えを出し合ってみましょう。 ■Bさんが②の発言をした時、どんな思いや考えがあったのでしょうか。 グループ内で自由に考えを出し合ってみましょう。 ※「資料1」を配布して読みあげ、内容を説明する。 ■Aさん、Bさん、Cさんの中には、このような忌避意識があり、お互いに同調圧力を感じる状況が生まれていたのではないのでしょうか。 ■この場にはAさんの娘さんも相手の方もいません。当人がいない場で、こうした話をするのは、不安を広げてしまいかねない行為であると指摘できます。	◆意見交換の様子や内容をできる限りキャッチし、全体で紹介できるよう準備する。
展開 2	26	5 わたしが不安から安心に変わった理由について、Dさんの発言の真意に焦点を当てて考え、意見交流する。 	■わたしは、親戚同士の会話を聞いて、「不安な気持ちになった」とありますが、Dさん、Eさんの発言の後の様子を感じて、「安心した気持ちになった」とあります。その理由について、Dさんの発言の真意に焦点を当てて考えてみましょう。 ■Dさんが発言した時、Dさんの心の中にはどんな思いや考えがあったのでしょうか。付せんに書いてみましょう。〔5分〕 ■グループで意見交流しましょう。また、同じものや類似のものはグループ化してペンで囲んで、見出しを付けましょう。そのことをもとにして、感想を話し合ひましょう。〔15分〕 ■ギャラリーウォークをしましょう。 ・他のグループの模造紙の様子を見て回しましょう。 ・「なるほど」と思う意見には、付せんにシールを貼りましょう。〔6分〕	◆準備物 ・付せん(ピンク) 5枚/人 ・黒ペン ・模造紙 ◆模造紙は半分に折り、上半分を展開2、下半分を展開3で使用する。 ◆準備物 ・シール 3枚/人

		<p><想定される意見></p> <p>○結婚する娘さんと相手の人が（人権を侵害されることなく）幸せになってほしい。</p> <p>○Aさんの不安を払拭したい。</p> <p>○自分にとって大切な人たちが「差別する人」になってほしくない。</p> <p>○「差別に出会った時が当事者だ。自分には差別をなくす力があるんだ」という思い。</p>		
展開 3	26	6 研修のテーマについて意見交流し、考えを深める。	<p>■これまでの学びを活かしながら、今日のテーマについて意見交流し、考えを深めていきましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「誰もが安心して生活できる社会をつくるために、できそうなことや大切にしたいこと」について、グループで出し合って、模造紙に箇条書きしてみましょう。（黒マジックで記入）〔7分〕 ・「出された意見の中で特に大切だと考えること」について、グループで話し合っ、模造紙にアンダーラインを引いてみましょう。（赤マジック）〔12分〕 <p>■全体で意見交流しましょう。</p> <p>各グループの代表者の方は、グループで話し合った「特に大切だと考えること」を話し合いの様子を交えて紹介してください。〔7分〕</p>	<p>◆準備物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒マジック ・赤マジック <p>◆残り時間を確認して、発表するグループの数を調整する。</p>
		<p>誰もが安心して生活できる社会をつくるために、できそうなことや大切にしたいこと</p> <p>○.....</p> <p>○.....</p> <p>○.....</p> <p>○.....</p> <p>○.....</p> <p>○.....</p>		
まとめ	8	7 ファシリテーターによるまとめを聞く。	<p>※《資料2》を読んで、内容を説明する。</p> <p>■今回は、学習資料の（ ）の中に「同和地区」と入れて研修を進めてきましたが、自分を含めて誰にとっても、わかってほしいけど言い出しにくい（ ）はないでしょうか。</p> <p>■学習資料の登場人物である「わたし」としてのDさんのように、私たちが子どもたちを含めて周囲の人により影響を与えることができる大人の一人でありたいですね。この研修を通して得られた気づきを日頃の人との関わりに活かしていけるとよいのではないのでしょうか。</p> <p>◆児童生徒が同じテーマで学習している場合は、学習の振り返りや感想の抜粋を事前に用意して紹介することもできる。</p>	
		8 アンケート用紙に記入する。	<p>■本日の活動を通して、気付いたことや考えたことを、アンケート用紙に書きましょう。</p>	<p>◆時間があれば、グループ内でシェアする。</p>

【参考資料】

「資料1」 忌避意識とは？

「同和地区」や「同和地区出身者」を避けようとする意識を言います。今日では、忌避意識こそが部落差別を支えている主要な意識だと言われています。よって、同和問題を解決するためには、この忌避意識の克服が極めて重要です。

なぜ同和地区に対する忌避が生まれるのでしょうか。世間から同和地区出身者と見なされて差別されるのではないかという不安から、「差別はいけないことだ」と分かっているにもかかわらず地区出身者との結婚を避けたり、同和地区に住むことを避けたりします。忌避意識とは、“世間の目”に非常に敏感な意識だと言えます。

部落差別は同和地区の外で起こっています。現在の差別は直接的に同和地区に向けられるというよりは、「世間」という、まわりからの視線を気にした結果、起こってくるケースが多くあるようです。

「同和地区や同和地区出身者を差別するつもりもないし、強い偏見があるわけでもない。ただ、差別される側になることだけは避けたい」という意識、つまり、同和地区出身であると見なされる可能性を避けていくという構図が、結果として同和地区を差別することにつながります。

見なされることを避ける行動や人々の意識は、特に結婚や家を購入する際、顕著に表れます。

「人権啓発冊子『ドラまちック』（三重県人権センター発行）より抜粋

「資料2」 () に入りたい言葉はありませんか？

あなたのまわりに、() について知っている人がいると、とても助かります。でも、友だちに話すかどうかは、あなた次第です。無理に話す必要はありません。ただ、理解してくれる友達がいれば、きっとあなたの支えになるでしょう。

好きな人や恋人ができたとき、あなたが() であることをすぐに告白すべきなのか。これは少しむずかしい問題ですね。

誰でも最初のうちは、自分のよいところだけを相手に知ってもらいたいと思うものです。でも、生涯のパートナーになる相手には、() も含めた、ありのままの自分を知ってもらいましょう。そうすることで、本当にお互いを支え合える関係になっていくでしょう。

「福岡県高等学校人権・同和教育研究協議会通信『RIPPLE』」より

出典：1型糖尿病と診断されたあなたへ（ティーン編）（日本イーライリリー株式会社発行）